

秋田市立旭川小学校 5 年生へ森林教室を実施

令和3年7月5日、秋田市大平山自然学習センター「まんたらめ」において、秋田市立旭川小学校5年生児童78名に対して森林教室を開催しました。

「総合的な学習の時間」を利用して自然のすばらしさや森林の重要性についての学習要望があったことから①森林の働き②樹木の測定③伐採方法の学習と丸太の輪切り体験を行いました。

①森林の働きでは座学により森林の機能や担っている役割、地球温暖化防止などについて学び、②の樹木測定では外に出てホオノキ、クリ、アカマツを測程（そっかん）と輪尺を使って樹高と直径を測って材積を計算してみました。③では、ノコギリを使っての伐採や、現在行っているチェーンソーや高性能林業機械について学んだ後、実際にノコギリによる丸太切り体験を行いました。輪切りにした木は、コースターとして持ち帰ってもらうことにしたところ、皆一生懸命に丸太切りに挑んでいました。

コロナ渦にあって運営の難しさもありましたが、この感染症が早く収束し、マスクをはずして大声で驚き、歓声を上げながら森林教室ができる日が来ることを願った一日でもありました。



森林の重要性や働きについて説明



樹木測定の様子



丸太の輪切りの様子



昔と今の伐採方法の説明